



(一社)日本公園施設業協会 設立30周年記念国際シンポジウム 開催のご報告

特集

「安全・安心から探し出す遊び場の未来」 は世界共通の話題

わが国では様々な安全の取組みにより遊具の重大な事故は減少しましたが、子どもの外遊びの時間は激減しており、子どもの「生きるちから」を育むためにより魅力的な遊びの場の提供が強く期待されています。今回の国際シンポジウムではそうした点を踏まえ、国内外の動向の報告や議論で遊具と遊び場の未来について考えました。その要旨をご紹介します。

未来を育むレジリエンス志向で 持続可能な社会づくりに貢献

レジリエンスを育てる重要性を再確認

日本のみならず、アメリカや英国でも遊具の安全性を追求するあまり、遊びの価値が犠牲になっていないかという議論があることが報告されました。「生きるちから」はレジリエンス(回復力、強靱性)とグローバルでは表現され、子どもの遊びの中で育まれるため、リスクの適切な管理(=リスク・ベネフィット・アセスメント)の重要性が再確認されました。

ISOでも議論、規格制定の取組み

世界に目を向ければISO(国際標準化機構)でも、いくつかの

ワーキンググループに分かれて遊びの価値やリスク・ベネフィット・アセスメントのあり方など遊具の安全に関わることが議論されています。JJFAもそれに参加しており、各国の風土や文化などの違いを超えて共通する基本的な事項が取りまとめられる見込みです。

ユニバーサルデザインからインクルーシブデザインへ

わが国では公園の整備において、高齢者や障がい者への対応としてバリアフリー化やユニバーサルデザイン化が進められてきましたが、今回はさらに進んだ、様々な障害に応じたきめ細かな配慮により障害のある者が障害のない者と一緒に遊べるようにするインクルーシブデザインの考え方とシンガポールにおけるその実例が新たなトレンドとして報告されました。

遊具、遊び場、周辺も含めて社会全体の連携を

幼児期において自然体験によりレジリエンスを育む重要性も報告され、子どもを取り巻く環境全体で配慮する必要があるとされました。子どもたちの育ちは私たちの未来に直結することであり、遊具と遊び場やその周辺も含めて社会全体が、時にはITなども活用しながら連携し、レジリエンスを育みたいと結論づけました。

国際シンポジウム 開催概要

(一社)日本公園施設業協会 設立30周年記念 国際シンポジウム

テーマ 安全・安心から探し出す遊び場の未来 ~世界の動向から国際標準で「遊び場の安全」を考える~

日時:2019年10月8日 13:00~17:00
場所:東京ドームホテル「シンシア」 参加者数:約360名

■ 第一部:講演

【基調講演】「都市公園における遊具の安全確保の取り組み」
古澤達也様(国土交通省 公園緑地・景観課長)
【主題講演】「安全な遊び場に向けた世界の取り組み」
角南勇二(日本:JJFA専務理事)
ケン・クツカ様(アメリカ:ISO/TC83のWG8遊具主要メンバー)
デビット・ボウル様(イギリス:ISO/TC83のWG6リスク主要メンバー)

■ 第二部:パネルディスカッション

タイトル「安全・安心から探し出す遊び場の未来」

【話題提供】

「子ども達の豊かな未来を育む遊び環境を求めて」三浦康暢様(学校法人景盛学園・宮ノ五幼稚園長)
「シンガポールの公園を訪ねての気づき」高尾幸宏(JJFA青年部部長)
「日本の遊び場2019年の気づき」深澤幸郎(JJFA青年部副部長)

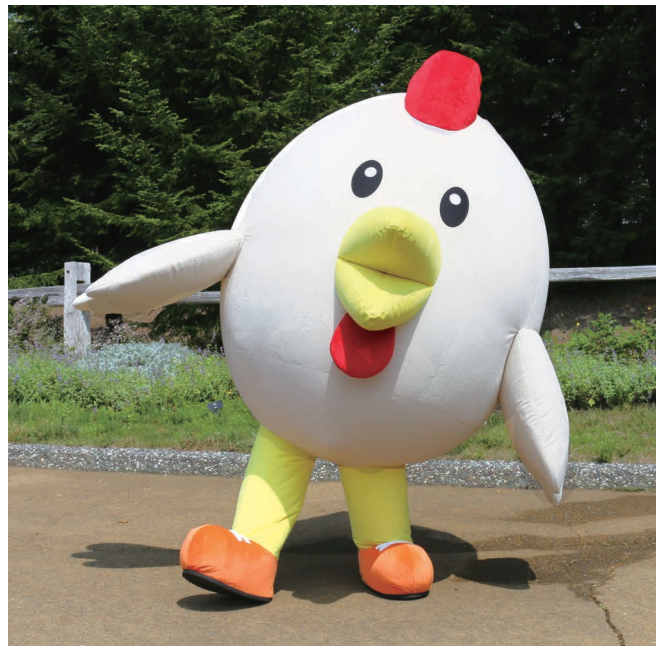
【総合討論】

モデレーター: 養茂壽太郎様(東京農業大学名誉教授、(一財)公園財団理事長)
ケン・クツカ様 デビット・ボウル様 三浦康暢様
大坪龍太様(フレイグランド・セーフティ・ネットワーク代表) 丸山智正(JJFA規程委員長)



公式キャラクター「ジエピ太」の着ぐるみが登場!

JPFAはこれまで公園利用者に安全な遊び方を分かりやすく、親しみやすく啓発する公式キャラクターを設定し、活用してまいりました。また2016年度からは点検修繕作業を行うユニフォームにあしらったり、協会章としてジャケット着用時に付けるなど、JPFAが取組む安全への取組みのシンボルとして位置づけています。この度、この役割りをさらに多面的に展開し、より広く利用者の方に安全な遊び方を知ってもらうために着ぐるみを制作しました。これからイベントなど様々な場面で登場しますので、皆さま、よろしくお願いします!



楽しく、分かりやすく、全国の公園で安全な遊び方をPR

JPFAでは公園の利用者の方に安全な遊び方を啓発する活動の一環として、公園での安全PRイベントを8支部すべて、全国各地で取組みました。

イベント会場ではブースを設置し、お子さんに危ない遊びを見つけてもらうゲームや輪投げなどで楽しんでいただいた後、「仲良く遊ぼう安全に」のパンフレットなどを保護者の方に配布して、遊具での安全な遊び方を呼びかけています。

また今年は上記でご紹介した着ぐるみのジエピ太も登場し、すっかり子どもたちの人気者になりました。

今後とも利用者の方に直接ふれ合える機会を大切に、安全PRに取り組んでまいります。



北海道支部:全国造園フェスティバル2019 於 国営滝野すずらん丘陵公園(8月)



甲信越支部:ハッピーオータムフェスタ2019 於 国営武蔵丘陵森林公園(9月)



東北支部:コスモス&コキアdeCOKOフェスタ2019 於 国営みちのくの湖畔公園(9月)